

平成31年度当初予算

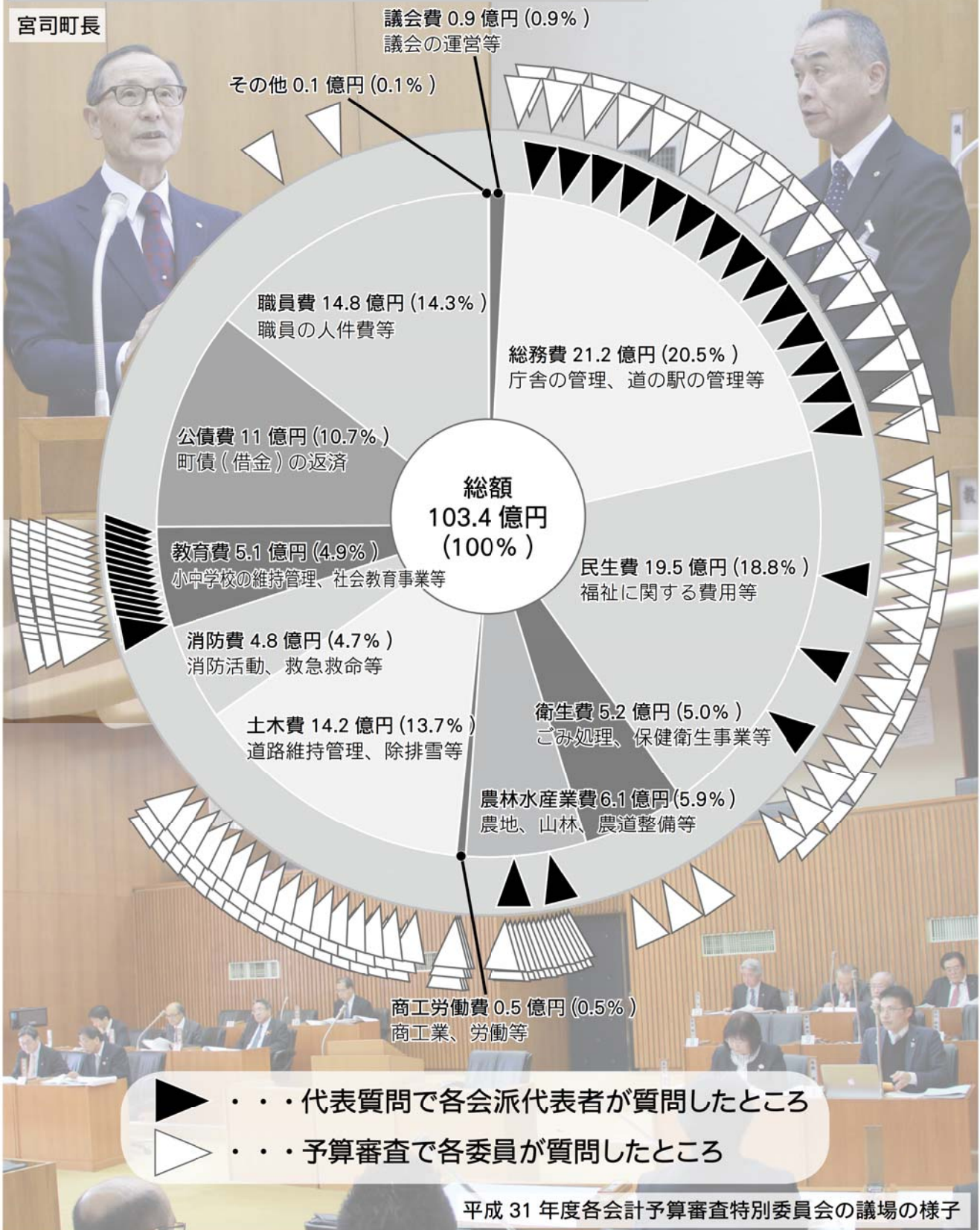
私たちは、ここに注目しています！

一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

本庄教育長

宮司町長



・・・代表質問で各会派代表者が質問したところ



・・・予算審査で各委員が質問したところ

平成 31 年度各会計予算審査特別委員会の議場の様子

代表質問

会派清風 稲村 勝俊 議員

質問の
ねらい

政策を共有認識とするために

「災害に強いまちづくりプロジェクト」について、昨年の地震、台風等の教訓から地域防災計画の見直しのポイント、災害対策本部等となる老朽化した本庁舎等公共施設の更新について2点質問した。また、「産

業力の強化」について基幹産業である農業の現状認識を踏まえた施策の展開について質問し、「エネルギー地域分散都市の形成」について木質バイオマスエネルギー活用の具体的な対策について質問した。



ここからは

代表質問 会派代表者が町政・教育行政執行方針に対し質問をしました。

ここを
聞きたい

防災計画の見直しポイント

問 昨年は想定外の異常気象で農作物の不良やビニールハウス等が損壊。胆振東部地震では大規模停電等の様々な被害。教訓として今後に生かすことが大切。地域防災計画の見直しポイントは。

答 災害に遭い、分かったことが幾つもあり、この経験を踏まえ、より現況に即した改正を図っていく。中でも、住民への情報伝達が十分ではなかったため、重層的な構築が重要と考えている。



昭和45年に建設された当別町役場庁舎

ここを
聞きたい

役場庁舎の建替え

問 役場庁舎の建替えは、財源確保等の情報を町民に提供し、合意形成の醸成が大切である。役場庁舎は、公共施設の中でも特に更新が必要と考えるが、建替えに対する考え方は。

答 町民の命を守る防災拠点となる役場庁舎建替えは、待ったなしの状況で、第一義的と考える。町民が集える複合的な施設をイメージし、町民の合意形成も含め取り組んでいく。

ここを
聞きたい

農業10年ビジョン

問 高齢化により耕作者が減少し、地域農業の維持が難しくなる。持続可能な農業のための農業10年ビジョンの推進は。

中、2017年度末は86億円とほぼ計画どおりだが、農畜産物の年度別の比較では全てが順調とは言えない。より一層強化するため、農業関係団体のトップ協議を定期的に行い、課題解決に向けて進めていく。

答 2024年までの農業出荷額を100億円と掲げ

ここを
聞きたい

農地所有適格法人

問 農地所有適格法人は地域農業の核となり得る。10年ビジョンにおける就農対策は。

業改良普及センターが主体的に関わり設立に向けて取り組んでいる。総合商社も加わる全国的にも例を見ない取り組みであり、就農課題における解決モデルとして成功させることが肝要かんようと考えている。

答 現在、弁華別地区では、複数戸法人の設立準備中であり、町や農協、農

ここを
聞きたい

再生可能エネルギーの推進

問 一体型義務教育学校や役場等の公共施設更新時に、再生可能エネルギーの導入をどのような思いで進めていくのか。

答 我が町の最有力資源はやはり森林であるので、木質バイオマスを主軸としたエネルギー政策を今後とも推進していく。

【その他の主な質問項目】

台風・地震による町税への影響、総合戦略最終年度の予算規模・予算編成方針 など



代表質問

会派新風 山田 明 議員

質問の
ねらい

次期総合計画策定には若い世代を

①第6次総合計画の策定は、いつまで？また、議会への説明は？構成メンバー及び構成内容は？②移住・定住の促進を札幌圏の子育て世帯に焦点を絞っては？③札沼線代替バスの今後の具体的な取組みは？④今年

度の学校運営協議会の具体的な活動は？⑤当別高校の現状と課題は？道教委との協議、検討は？⑥今年度の読書活動推進のための具体的な取組みは？⑦幼保小間の接続プログラム作成の具体的な取組みは？

ここを聞きたい 若い世代をメンバーに

問 第6次総合計画の審議会には、将来を担っていく若い世代、例えば、青年会議所やJA青年部、子育て世代である認定こども園や小学校のPTAの方々を多く入れるべきではないか。

答 総合計画審議会の構成メンバーには、議員のご提案のとおり、将来を担う世代が策定にかかわっていくことは重要であると考えている。

ここを聞きたい 子育て世代の移住促進

問 子どもの人口を増やすため、子育て世代を呼び込むために、町長が常々口にしている当別町のポテンシャルを活かして道内や近隣、特に札幌市からの移住促進を進めるべきではないか。

答 執行方針でも言ったとおり、これまでよりも更に精度を高めた人口減少の要因分析を始めているので、その結果を踏まえ、札幌市の子育て世帯に向けた移住促進の取組みに注力していく。

ここを聞きたい 札沼線代替バス運行ルート

問 中小屋・金沢両地区から国道275号線の旧道を運行ルートにしてほしいと要望がある。そのためには、国道275号線に右折レーンが必要となるが、今後の具体的な取組みは。

答 右折レーン構築は、用地買収などを考えると1、2年で整備できるものではないので、2020年春の運行開始時には間に合わないが、道路管理者の北海道開発局に道路改良の要望を続けていく。



国道275号線（現在は右折レーンがない）

ここを聞きたい 当別高校の今後のあり方

問 当別高校のあり方の検討には、町立化も検討対象になると想定されるが、具体的には、何をいつまでに検討するのか。

答 入試倍率は、普通科、家政科、園芸デザイン科

ともに定員割れとなっており、いずれ募集停止の恐れがある。そうならないよう、中学生や保護者から選ばれる高校になる必要がある。平成31年度は高校側と具体的な方策の検討、協議を始めていきたいと考えている。

ここを聞きたい 読書活動の現在の課題は

問 当別町の読書活動を推進する上での課題は。

答 子どもたちの家庭での通信機器の使用やテレビ

の視聴時間が長く、読書や学習に取組む時間が短い。児童生徒の生活習慣の改善が大きな課題と捉えている。

【その他の主な質問項目】
学校運営協議会の具体的な活動、幼保小間の接続プログラム作成の具体的な取組み など

代表質問 会派公明 石川 和榮 議員

質問の
ねらい

町の経済に林業振興は喫緊の課題

町に豊富にある再生可能エネルギーの中でも木質バイオエネルギーは有力な資源である。林業及び地域再生の視点からみて急がれるバイオマス利用は発電に加えて熱利用が必要である。森林は町に多く存在し、

輸送コストも大幅に抑えることができる。バイオマス熱利用は使えば使うほど地域が潤うと言われている。「木質バイオマスエネルギー」の具体的な活用と事業について伺う。



ここを
聞きたい

木質バイオマスエネルギー

問 バイオマス熱利用は使えば使うほど地域が潤う。木質バイオマスエネルギーの具体的な活用は。

答 公共施設への木質バイオマスボイラーの導入を進めてきている。町内で

木質チップを製造し、町外から購入している化石燃料を町内の木質資源に置きかえることにより、エネルギーの地域循環体制が構築でき、町内雇用が生まれるなど、経済効果につながると確信している。



昨年視察した知内町のチップ製造工場



森林被害の状況把握のためドローンにより撮影
(平成30年9月発生 台風21号)

ここを
聞きたい

林業でのドローン活用

問 ドローンを活用した資源量把握の省力化など、ICTによる林業再生の取り組みが活発化してきている。今後の町の考えは。

答 昨年発生した台風による森林被害の状況把握

は、町が所有するドローンで調査した。新年度からは当別町を実証フィールドとして北海道立総合研究機構と森林資源の有効活用にドローンやICT技術を使った共同研究を行っていくなど林業の再生に努めていく。

ここを
聞きたい

児童虐待防止ゼロへの対策

問 児童虐待の事件が全国で発生し、テレビのニュースや特集でさまざまな悲惨で痛々しい児童虐待の事案が多く報道されている。児童虐待の具体的な対策は。

答 北海道策定の子ども虐待対応マニュアルを参考に進めているが、実際には臨機応変な対応が求められるので、児童相談所と常に連携をとり、アドバイスを受けながら対応することとしている。

平成21年度改訂版

子ども虐待 対応マニュアル

～関係機関 初期対応実践 編～

北海道策定の「子ども虐待対応マニュアル～関係機関初期対応実践編～(平成21年度改訂版)」



代表質問 会派緑風会 秋場 信一 議員

質問の
ねらい

稼ぐ町の切り札は森林資源か!?

2万人を目指す当別町の人口減少という現実。新年度方針から森林資源の活用に注目した。町長就任から重点施策として再生可能エネルギーの推進を掲げてきた。特に木質バイオマス熱利用の事業化への取り組み

は、雇用・産業の創出への大きな可能性を秘めるため、今後の取組みについて伺う。また、義務教育一貫校の新設は西当別地区を含め町民との対話など幅広く意見を聞き、基本設計に入るべきと、新たな提案をした。

ここを聞きたい 木質チップの生産と量

問 2021年実施予定の木質バイオマスの熱利用事業化計画では乾燥チップ材を西当別小中学校に、2022年には一体型義務教育学校に供給することだが、チップ生産の計画や生産量の見込みは。

答 生産は、町内事業者が参入を考慮しており、事業化を進めている。計画では、需要が増えても対応できると聞いている。木質資源は、全ての公共施設で使った場合でも十分間に合う見込みである。

ここを聞きたい 木質バイオマス熱利用事業者

問 木質バイオマス熱利用事業化計画が町の最も優位性のある新たな産業として定着することを望んでいる。木質バイオマス熱利用の事業化はどのような事業者を予定しているのか。

答 熱利用に関しては、温浴施設や施設園芸の暖房、住宅の暖房、融雪など、こういった事業者を考えており、企業誘致を含め、取り組みを進めているところである。

ここを聞きたい 西当別地区の校舎建設

問 一貫校建設で、特に西当別地区の人からの疑問の声が多い。町長は西当別地区にも同様の学校を造ると議会で答弁しているが、人口が減っていく状況の中、改めて考えを聞きたい。

答 西当別地区を含めて住民の皆さんから合意をいただいているものと思っている。町は人口増を目指した施策を展開しており、西当別地区にも同様の学校を建設する時期が来ると考えている。



(上) 西当別小学校・(下) 西当別中学校

ここを聞きたい 計画を一度ストップしては

問 実施設計の予算を提出する前に計画を一度ストップし、町民の意見を丁寧に聞く必要があるのではないかと。後戻りではなく、むしろ前進するための前向きなものと捉えていただきたい。

答 基本構想策定段階から住民説明会、両地区学校運営協議会、各学校、関係者に対して説明し、パブリックコメントも実施し、既に町民の合意はできているので、立ちどまることなく進めていく。

ここを聞きたい 一部分離型の新提案

問 1年生から4年生を今ある各小学校に、5年生から9年生を一体型一貫校にと一部分離型にすることで地域に小学校が残り、学校建設費用が抑えられたり、部活動も活性化するのは。

答 町の財政が厳しいとの理由で、教育方針を見直す考えは全く持っていない。あってはならないものだと考えている。

注目すべき新年度事業は!?

総務文教常任委員会(3/11)、産業厚生常任委員会(3/12)、予算審査特別委員会(3/15・18・20)を開催し、新年度予算に関する質疑が行われました。

当別町立地適正化計画策定に向け

当別町立地適正化計画の中間報告では、まちづくりの全体方針を「石狩当別駅・石狩太美駅を拠点として、都市機能が集約され、それぞれの地域特性を活かした、便利で住みやすい居住環境の維持・創出を図る」とするとの説明がありました。



JR 石狩当別駅

当初予算 条例案 委員会での意見の聴取

当別町立地適正化計画策定委員会条例

条例案の中で、「委員長は、所掌事務を遂行する必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又はこれらのもので資料の提出を求めることができる。」とあり、それに対し質疑がありました。

問 「委員以外の者」とは、役場職員を想定しているのか。又は、一般の方か。一般の方であるとしたら、「資料の提出を求めることができる。」という表現は強すぎないか。

答 役場職員に限定はしていない。まちづくりに関し広く意見を聞くために意見等の聴取に関する表現を設けており、資料を求められた方に強制をすものではない。

当初予算 計画策定委員会のメンバー

立地適正化計画策定委員会委員報酬 11万円

立地適正化計画とは、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により都市全域を見渡した基本的な方針として位置づけられる計画です。

問 想定している計画策定委員会のメンバーは。

答 学識経験者、道路管理者、公共交通管理者、医

療・福祉部門、農業関係者、林業、商工会、金融といった分野の方々からそれぞれ代表する方を想定している。

問 想定している委員会メンバーについて、男性と女性の人数と当別町内と町外の人数は。また、なぜ公募を入れないのか。

答 現在の想定では男性のみで、町内11名、町外1名である。また、公募については、協議内容が非常に専門的な知識が必要と考え、公募はなじまないと考えている。

当初予算 総合戦略人口目標との整合性

立地適正化計画策定業務委託 1,350万円

総合戦略では、人口目標を2040年までに2万人としています。一方、立地適正化計画は、国の方針により社人研^{※1}が推計した人口(人口が減少していく推計)に基づき計画を策定することとされています。その整合性について質疑がありました。

問 計画の中間報告では、総合戦略の2万人を目指すというよりは、人口が減っていくことを想定して計画を作っている印象を受ける。人口目標2万人を目指すさないのか。

答 立地適正化計画は国の方針もあり社人研の人口推計を基に策定を行うが、町で掲げる人口2万人に向け、計画策定作業の中で分析し、方向性を見出していきたい。

※ 1 社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略。平成27年国勢調査の確定数値を基に将来人口の推計を行い、平成29年4月に公表した。

西当小・中 木質ボイラ導入へ

**当初
予算**

既存ボイラの改修は

木質ボイラ導入工事実施設計業務委託 1,760 万円

西当別小学校・中学校の重油ボイラの老朽化に伴い、木質ボイラ※¹に更新するため、新年度は実施設計、2020年に設備導入、2021年から利用を開始するとの説明がありました。

問

西当別小・中学校を一貫校にするとなった場合ボイラだけを先に導入して無駄な設備投資にならないのか。また、既存ボイラは大規模な改修をしたことがないのか。

答

小学校のボイラは昭和57年、中学校は昭和55年に設置。耐用年数は約15年で、早急に設備更新が必要である。また、今まで大規模な改修は行われていない。

**当初
予算**

既存ボイラとのコスト比較

木質ボイラ導入工事実施設計業務委託 1,760 万円

木質ボイラ導入の概算費用は1校1億円で、小学校・中学校で合計2億円になると説明がありました。他のエネルギーを使った場合のコスト比較について質疑がありました。

問

木質チップボイラと他のエネルギーを使った場合とのコスト比較は。

答

既存のボイラを重油ボイラと木質チップボイラに交換した場合の試算を

している。国からの補助金や現在の重油価格を考慮すると、木質チップボイラのライフサイクルコストは約6年～8年で重油ボイラを逆転すると試算している。



総合体育館の木質ペレットボイラ

**当初
予算**

木質チップの確保は

木質ボイラ導入工事実施設計業務委託 1,760 万円

問

西当別小・中学校の木質ボイラ導入事業は、エネルギーの地産地消の推進だと説明があったが、将来にわたり木質チップを十分に供給できるのか。

答

町有林の直営林で年間約536t、河川支障木で約200tの木質チップ生産を見込んでいる。西当小中の使用量を約200tと見込んでいるので十分対応できる。

森林に親しむ取り組みを

**当初
予算**

森林に親しむ啓発運動を

森林愛護組合交付金 18 万円

森林愛護組合の主たる活動内容は、林野火災の予防啓発等、山火事注意看板、旗等の設置で、啓発や入林者への指導等を行っています。

問

当別は多くの森林資源があり、もっと親しむ仕掛けを町がやるべき。森にたくさんの人に入ってもらい、林道の良さを知ってもらえるような取り組みを検討しては。

答

森と木に親しめるような事業を森林愛護組合と連携しながら展開し、当別の一番の資源である森林を身近に感じてもらうよう推進していきたい。



当別町森林愛護組合と当別町緑化推進委員会が共同設置している「山火事注意」の看板

※1 木質バイオマスボイラ…木材に由来する再生可能な資源（使われない木材をチップやペレットに加工）を利用するボイラ。

当別町 150 年記念事業

当初
予算

150 年記念イベント

当別町 150 年記念事業委託 400 万円

問

150 年記念事業委託はどのような内容か。

答

委託内容は、来年度 150 年を迎え、その前年に当たることから、イベントを企画してい

たいと考えている。また、記念事業のコンセプトの立案、企画内容の検討、その他に事業の企画提案に関する町民からの意見集約に関する業務も含めていきたいと考えている。



百年会館

当初
予算

150 年 町史編纂

町史編纂業務委託 300 万円

問

町民の方々からのお話を記録するような、特に、ご高齢の方々のお話を記録していくようなオーラルヒストリー※¹は、この委託の中に入っているのか。

答

町の歴史を重層的に見ることは非常に重要。どう反映するかは町史編纂委員会との協議によるが、専門家からは個人的な意味合いが強くなると指摘されている。

当初
予算

百年会館耐震改修

百年会館耐震改修工事 1,000 万円

問

過去に地域から建て替えの要望があり、来年 150 年を迎え、様々な事業が行われるが、来年、建て替えをしてほしいという要望が出た場合、どう対応するのか。

答

毎年、町内会と財政課が協議し、修繕を進めている。これまで、建て替えの要望は伺っていない。引き続き、町内会と協議をしながら修繕を進めていきたい。

北欧の風 道の駅とうべつ

当初
予算

道の駅バックヤード建設

道の駅附帯施設整備工事 4,068 万円

問

道の駅附帯施設整備工事の約 4,000 万円のうち、約 3,000 万円はバックヤード建設に充てると説明があった。具体的に改善される場所は。

問

バックヤードの建設は、冬期間の来場者の減少を改善することにつながるのか。

答

当初の想定より来場者が多く、バックヤードの容量が不足している。また、一日を通して働きたいという従業員が多く、休憩所が不足しているため、これらを改善する。

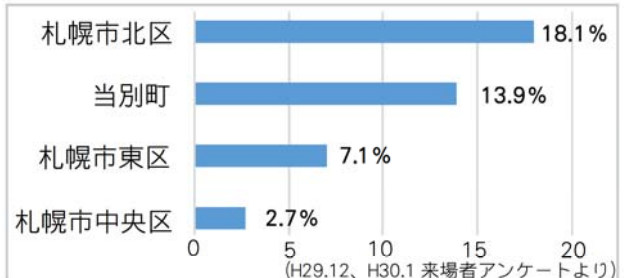
答

バックヤードや休憩所建設は、一部来場者増につながると思うが、来場者を増やすには、季節を問わず、いかに多くのイベントを開催するかが一番のポイントである。

当初
予算

道の駅プロモーション

道の駅プロモーション事業業務委託 600 万円



道の駅地区別来場者割合 (%)

問

道の駅プロモーション事業の具体的な内容は。

答

開業記念効果も一定程度収まったので、さらなる交流人口の増加のため、札幌市の中

心部でプロモーションイベントを行いたいと考えている。これに加え、テレビを活用したプロモーションを行いたいと考えている。

※1 オーラルヒストリー…歴史研究のために、直接、関係者から聞き取りをして、記録としてまとめること。

※2 バックヤード…店舗のうち、売り場ではないスペースのこと。小売業においては、商品置き場やパッケージングを行うスペースのこと。

道路・河川・公園・農業施設整備

当初予算 札沼線代替バスの町道整備

町道北八号線道路改良工事 3,500 万円

問 現時点で北八号線は札沼線代替バスの予定路線であるが、どのような道路にするのか。

答 現状の道路は、5mの幅員で対面交通できないので、今回二層の舗装とし、交通荷重に耐えられる構造にする。



町道北八号線道路改良工事位置図



平成30年7月大雨被害(弁華別地区)

当初予算 パンケ河川改修工事測量

パンケチュウベシナイ川河川改修工事測量 2,000 万円

問 今回の河川改修工事測量の位置と内容は、

答 弁華別地区の区間 1,100m の調査測量、実施設計を行う。内容は、未整備区間の河川の線形が

大きく蛇行しており、昨年の融雪時に雨が降り川の水が氾濫したり、また30年度の大雨でも氾濫したりしているため、河川の線形を含めた護岸等の改修を行う。

当初予算 ライラック公園(西町)遊具更新

公園施設長寿命化工事 2,880 万円

問 遊具の更新にあたっては、適切な判断のもと規模や内容を決めるべきである。具体的にどれぐらいの人が利用するかという想定はあるのか。

答 利用者数を計測していないが、地域の子どもの人数を踏まえた中で、今後、地元からの意見を聴取し、協議して、有効な遊具を設置していきたい。



阿蘇公園大型コンビネーション遊具



南瓜集出荷貯蔵施設(既存施設の改修と既存施設に向かって右側のスペースに1棟新設する。)

当初予算 南瓜集出荷貯蔵施設整備

産地パワーアップ事業補助金 1億4,198万円

問 事業の概要は、カボチャの集出荷貯蔵施設を整備するためとのことだが、具体的な数量は、

答 カボチャの選別、集出荷の倉庫で、選別のラ

インを1レーンから2レーンに、さらに集出荷貯蔵施設を1棟新設する事業である。現状の処理能力の数量が1,192tで、これを最大1,800tにする。

その他の質問

当初
予算

町民の優先的な受診は

初期救急受入事業負担金 30 万円

今年度より初期救急医療体制が変更になり、その中で、札幌市にある勤医協中央病院の協力を得られることになったとの説明がありました。

問

初期救急受入事業では、当別町の町民が協力病院（勤医協中央病院）に救急車、または、自分で行った場合、優先的に受診できるようになるのか。

答

当別町の町民だからと言って優先的に診てくれるわけではない。この負担金は、町民が受診した際の受診動向の実績報告書作成にかかる事務費負担である。

当初
予算

子どもの貧困対策は

就学援助費 小学校 959 万円、中学校 1,009 万円

平成 31 年度予算における就学援助^{※1}率の見込みは、小学校で 17.7%、中学校で 19.2%であるとの説明がありました。

問

就学援助の見込みは、小学校が 17.7%、中学校が 19.2%とのことだが、ここ 2、3 年増加傾向で、子どもの貧困は由々しき問題である。教育委員会はどう考えているのか。

答

そういった子に対する支援は欠かせない。就学援助費に限って言えば、まだ取り組めていない項目があるので、全ての項目を支給したいと考えている。



ふれあいバス

※1 就学援助制度…経済的な理由などにより、児童生徒を就学させることが困難な保護者に対し、学用品費・給食費・修学旅行費などの教育費の一部を援助するもの。

当別町

平成 31 年 4 月発行 保存版

平成 31 年 4 月からの救急医療体制

住民が急病の際に診療を受けることができるよう、江別市と江別医師会及び町内科医院に加え、今年度から新たに札幌市東区にある勤医協中央病院の協力を得て、診療体制を確保しています。

今年度の初期救急医療の変更点

- ① 夜間、勤医協中央病院も利用できます。(内科のみ)
- ② 町内科急病当番区は、12月～3月の日曜日(2020年1月5日を除く)に実施します。

初期救急医療(夜間・休日急病当番医)

- 夜間(江別市夜間急病センター・勤医協中央病院)・・・1ページ
- 昼間(江別市内科小児科休日当番)・・・2ページ
- 近くの医療機関案内・・・3ページ

救急安心センターさっぽろ

「救急車を呼ぶか迷ったら相談したい」「こんな症状だけで急いで病院へ行ったらどうだろうか?」など、急な病状やケガで迷ったらお電話ください。救急医療相談に24時間365日看護師が相談に対応します。

救急電話相談
ダイヤル 7119
ダイヤル回線・一部の電話からは
011-272-7119へ

救急医療相談
看護師がお聞きした症状から緊急度を判断。その結果に応じて最寄りの医療機関を案内するなどの助言をしたり、119番へ電話を転送します。

町内での利用実績

(平成30年4月～平成31年1月まで)

・相談総件数 162件 (月平均 16.2件)



平成 31 年 4 月からの救急医療体制パンフレット

当初
予算

国民健康保険税の負担増

平成 31 年度国民健康保険特別会計

国民健康保険税は、被保険者数(保険に加入している方的人数)の大幅な減少により、新年度より増額するとの説明があり、その具体的な金額について質疑がありました。

問

国民健康保険税の負担増の大きな原因は、被保険者数の減少という説明があった。4人世帯の年間の国保税は、具体的にどれくらい上がるのか。

答

所得 250 万円、固定資産税 5 万円、介護該当者 2 名の世帯で試算をした結果、年額が 45 万 1,300 円から 47 万 8,100 円となり、2 万 6,800 円の増額となる。

当初
予算

公共交通協議会の財政運営は

地域公共交通活性化協議会負担 2,549 万円

当別町地域公共交通活性化協議会は、ふれあいバス(コミュニティバス)を運行しています。その協議会の財政運営について質疑がありました。

問

協議会の積立金が、30 年度末時点で約 1,500 万円で、31 年度の取り崩しが約 600 万円である。地域公共交通活性化協議会の財政運営は、持続可能性があるのか。

答

町民の皆さんにご利用いただき、町民全体でコミュニティバスを支えていただく。また、運行経費の節減や料金の見直し、負担金の見直しなど、協議会と連携していく。



トラクターの後ろに取り付け畑を耕すパワーハロー

当初
予算

農業機械の借上料

農業機械借上料 730 万円

問

どのような事業で、何の機械をどの程度の期間借りられるのか。

型化による新たな営農展開を支援するためリースを行う。リース期間は4年で、グレンドリル、パワーハローなどを町がリースをして農業者に貸している。事業は、平成24年から10年間である。

答

道営事業の農地整備事業で、圃場の大区画化にあわせた農業機械の大

当初
予算

上下水道料 消費税の影響額

下水道条例・水道事業給水条例の一部改正

問

条例が2本上程されており、本年10月1日から施行する。水道料金と下水道使用料は、消費税8%と10%ではどれくらいの影響額があるのか。

答

8%から10%に増額になったときの町の影響額は、水道料金については730万円程度、下水道使用料については340万円程度である。

委員会の動画も公開しています

当別町議会では、開かれた議会を目指し、本会議以外にも各常任委員会や予算審査特別委員会などの録画動画を公開しています。

議会だよりには掲載しきれないたくさんの質疑があるので、是非ご覧ください。



【その他の主な質問項目】

ふるさと納税の返礼品の金額、連携中枢都市圏構想における地域医療、孫手帳の周知、中小企業特別融資利子補給の予算根拠、各団地屋根塗装工事の効果、高校生奨学金運営協議会への負担金の増額理由 など

各会計予算案を原案どおり可決

賛成 12 名 退席 2 名

3月15日、18日の質疑に続いて3月20日に平成31年度各会計予算案が採決されました。その採

決では、賛成が12名、2名が退席し、全会一致で原案どおり可決されました。

質疑 少数意見の反映は

起草委員会が作成した報告書に対して質疑があり、起草委員会委員長が答弁しました。

問

下水道や水道料の消費税の転嫁、国保税の大幅なアップなど町民の負担が増える。少数意見ではあったが、そういう議論があったのではないかと。

答

さまざまな意見が出たということも承知しており、そのことも含めて慎重に審議をして、この度は、原案のとおり可決すべきものと決定したので、報告書をまとめた。

平成31年度各会計予算審査特別委員会



委員長 古谷 陽一 副委員長 石川 和榮
委員 議長を除く14名の議員

起草委員会

委員長 稲村 勝俊

委員 秋場 信一 五十嵐 信子 佐藤 立